

粟生線は地域みんなの財産です

粟生線と まちの将来について考える シンポジウム



平成26年 **12月23日(火・祝)**

14:00~17:40 (13:30 開場)

三木市文化会館 小ホール

(三木市福井1937 TEL.0794-83-3300)

参加費
無料

定員:500名 事前申込不要(予約可)

※予約の必要はありませんが、当日500名を超えた場合は入場を断らせていただく場合があります。

人口減少社会がますます進展していく中で、
これからの「まち・ひと・くらし」はどう変わっていくのでしょうか？
そして、地域みんなの財産である粟生線の未来は…。



パネラー

玉岡かおる
(小説家)

プロフィール

兵庫県三木市出身。神戸女学院大学卒業。
1989年神戸文学賞受賞の『夢食い魚のブルー・グッドバイ』(新潮社)で文壇デビュー。著書多数の中、(1)幻の名画コレクションに材を取った『天涯の船』をはじめ、(2)巨大商社・鈴木商店の女主人の一代記『お家さん』、(3)生野銀山を舞台に国家と人間の近代化を描いた『銀のみち一条』(いずれも新潮社)は、“明治三部作”として反響を呼んでいる。



主催／神戸電鉄粟生線活性化協議会
共催／兵庫県、神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄
後援／国土交通省近畿運輸局、
関西鉄道協会、兵庫県教育委員会



PROGRAM プログラム

● 14:00 **開会** (13:30開場)

● 14:05 **VTR放映** (25分)

高校生が伝えた粟生線の現状

● 14:30 **基調講演** (45分)

地方創生と鉄道 ～成熟社会のまちづくりをめざして～

宇都宮 浄人 関西大学経済学部教授

● 15:15 ～休憩(15分)～

● 15:30 **パネルディスカッション** (90分)

これからのまち、ひと、暮らし、そして交通

コーディネーター **正司 健一** 神戸大学副学長(活性化協議会座長)

主なパネラー **玉岡 かおる** 小説家

佐伯 武彦 北条鉄道(株)副社長(元川崎重工業(株)副社長)

宇都宮 浄人 関西大学経済学部教授

上記のほか、コンテスト受賞者等の参加を計画しています。

● 17:00 ～休憩(10分)～

● 17:10 **プレゼンテーション・表彰式** (25分間)

粟生線活性化グランプリ「粟生線・未来へと続くルールコンテスト」 (施策提案部門および利用促進・啓発活動部門)

私たちの鉄道は私たち自身で守りたい!

そんな思いを胸に高校生や大学生が、粟生線の存続に向けて、さまざまな取組や提案を行っています。今年の取組・提案の中から特に優れたものをご紹介します。

イベントの企画や運営



駅前イベント



列車内
イベント

現状の学習や発表



セミナーなど
への出席

大会などでの
発表



利用促進・解決策の提案



検討の様子

提案例
(絵本制作)



● 17:40 **閉会**

※プログラムの内容・出演などは、都合により変更させていただく場合があります

<シンポジウムのご予約・お問合せ> **神鉄コミュニケーションズ ☎078-521-0321 (平日10:00~17:00)**



できるだけ公共交通機関をご利用ください

会場のご案内

- 神戸電鉄「恵比須駅」下車、徒歩約15分
- 神戸電鉄「三木上の丸駅」下車、徒歩約15分
- 下記の電車およびシンポジウムの終了にあわせて恵比須駅と会場間でシャトルバスを運行します

「最寄駅までの神戸電鉄時刻表」

下り(急行粟生行き)

新開地駅	→ 恵比須駅	→ 三木上の丸駅
11:57	12:39	12:41
12:57	13:39	13:41

上り(急行新開地行き)

粟生駅	→ 小野駅	→ 三木上の丸駅	→ 恵比須駅
12:10	12:15	12:29	12:31
13:10	13:15	13:29	13:31